

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成20年3月13日(2008.3.13)

【公開番号】特開2006-301134(P2006-301134A)

【公開日】平成18年11月2日(2006.11.2)

【年通号数】公開・登録公報2006-043

【出願番号】特願2005-120483(P2005-120483)

【国際特許分類】

G 1 0 L 11/00 (2006.01)

G 1 0 L 19/00 (2006.01)

H 0 4 S 1/00 (2006.01)

【F I】

G 1 0 L 11/00 4 0 2 G

G 1 0 L 11/00 1 0 1 Z

G 1 0 L 19/00 5 0 0 B

H 0 4 S 1/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成20年1月24日(2008.1.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

2 チャンネル音声の各チャンネルのパワーの合計を算出する第 1 のパワー算出部と、
2 チャンネル音声の各チャンネルのパワーの差を算出する第 2 のパワー算出部と、
前記第 1 及び第 2 のパワー算出部により算出されたパワーの比を求めるパワー比算出部
と、
前記パワー比算出部により算出された前記比と所定の閾値とを比較する比較部と、
前記比較部により比較された比較結果に基づいて音楽区間の判定を行う判定部とを備え
ることを特徴とする音楽検出装置。

【請求項 2】

請求項 1 記載の音楽検出装置において、
前記判定部は、前記パワー比算出部により算出された前記比が所定の閾値より大きい場
合に、その部分を音楽区間と判定することを特徴とする音楽検出装置。

【請求項 3】

請求項 1 また 2 記載の音楽検出装置において、
前記判定部は、隣接した 2 つの音楽区間の隙間が閾値より短い場合は音楽区間が連続し
てしていると判断することを特徴とする音楽検出装置。

【請求項 4】

請求項 1 から 3 いずれかに記載の音楽検出装置において、
前記判定部は、検出した区間が閾値より短い場合は、音楽区間ではないと判断すること
を特徴とする音楽検出装置。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 いずれかに記載の音楽検出装置において、
多チャンネルステレオ音声を 2 チャンネルデータに変換する変換部を備え、変換後の 2 チ
ャネルデータを基に音楽区間を検出する検出部を備えることを特徴とする音楽検出装置。

【請求項 6】

請求項 1 から 5 いずれかに記載の音楽検出装置において、
圧縮された音声ビットストリーム中のシンボルを復号する復号部と、
前記復号されたシンボルを逆量子化し周波数成分を算出する周波数成分算出部と、
前記周波数成分の各周波数の 2 チャンネルの差のパワーを算出する パワー差算出部と、
前記周波数成分の各周波数の二乗和によってパワーの合計を算出する算出部とを備えることを特徴とする音楽検出装置。

【請求項 7】

請求項 1 から 5 いずれかに記載の音楽検出装置と、
曲の頭出しを行う曲頭出しキーの操作によって曲の頭の位置を検索する手段と、
前記の検索によって求めた曲の頭の位置に再生位置を移す手段とを備えた録音再生装置。

【請求項 8】

2 チャンネル音声の各チャンネルのパワーの合計を算出する第 1 のパワー算出部と、
2 チャンネル音声の各チャンネルのパワーの差を算出する第 2 のパワー算出部と、
前記第 1 及び第 2 のパワー算出部により算出されたパワーの比を求めるパワー比算出部と、
前記パワー比算出手段により求められた比が所定の閾値以上の部分を第 1 の音楽部分と判定する第 1 の判定部と、
前記 第 1 の音楽部分が瞬断された部分を接続して第 2 の音楽部分とする 第 2 の判定部と、
、
第 2 の音楽部分がある時間より短い部分を取り除いて第 3 の音楽部分とする第 3 の判定部とを備えたことを特徴とする音楽検出装置。

【請求項 9】

2 チャンネル音声の各チャンネルのパワーの合計を算出する第 1 のパワー算出ステップと、
2 チャンネル音声の各チャンネルのパワーの差を算出する第 2 のパワー算出ステップと、
前記第 1 及び第 2 のパワー算出ステップにより算出されたパワーの比を求めるパワー比算出ステップと、
前記パワー比算出ステップにおいて算出された前記比と所定の閾値とを比較する比較ステップと、
前記比較ステップにより比較された比較結果に基づいて音楽区間の判定を行う判定ステップとを備えることを特徴とする音楽検出方法。

【請求項 10】

2 チャンネル音声の各チャンネルのパワーの差を算出するパワー差算出部と、
前記パワー差算出部により算出された前記差と所定の閾値とを比較する比較部と、
前記比較部により比較された比較結果に基づいて音楽区間の判定を行う判定部と
を備えることを特徴とする音楽検出装置。

【請求項 11】

2 チャンネル音声の各チャンネルのパワーの差を算出するパワー差算出部と、
前記パワー差算出部により算出された前記差が所定の閾値以上の部分を第 1 の音楽部分と判定する第 1 の判定部と、
前記第 1 の音楽部分が瞬断された部分を接続して第 2 の音楽部分とする第 2 の判定部と
、
第 2 の音楽部分がある時間より短い部分を取り除いて第 3 の音楽部分とする第 3 の判定部とを備えたことを特徴とする音楽検出装置。

【請求項 12】

2 チャンネル音声の各チャンネルのパワーの差を算出するパワー差算出ステップと、
前記パワー差算出ステップにおいて算出された前記差と所定の閾値とを比較する比較ステップと、
前記比較ステップにより比較された比較結果に基づいて音楽区間の判定を行う判定ステップとを備えることを特徴とする音楽検出方法。

【請求項 13】

請求項 8 に記載の音楽検出装置において、

前記第 1 の音楽部分が瞬断された部分とは、隣り合う 2 つの第 1 の音楽部分間の時間間隔が、所定の時間よりも短い部分であることを特徴とする音楽検出装置。

【請求項 14】

請求項 11 に記載の音楽検出装置において、

前記第 1 の音楽部分が瞬断された部分とは、隣り合う 2 つの第 1 の音楽部分間の時間間隔が、所定の時間よりも短い部分であることを特徴とする音楽検出装置。